

まんだら通信

平成20年(2008)04月 佛誕2574年

295-0103 千葉県南房総市白浜町滝口1084
真言宗智山派 天神山 紫雲寺 高橋 龍渉
郵便振替 00120-2-43163 紫雲寺
TEL0470-38-4740/FAX 0470-30-5040
URL <http://www.awa.or.jp/home/ryusho/>
E-mail ryusho@awa.or.jp

花祭り



『佛生会』などといいますが、『灌佛会』とかでも、『花祭り』の方が、浮き浮きした季節の感じがして、お生まれになったお釈迦さまをお祝いするには、相応しい言葉だと思えます。

遥か二五〇〇年前、インドの北、今はネパール領のルンビニの花園でした。お母様のお名前はマハー・マヤー、漢訳で摩訶摩耶夫人、お父様はシュツドーナ王(浄飯王)。カピラバストウという小さな王国の王子としてお生まれになったそのお方。

死の恐れ、病の悩み、人との付合い。人が生きて行く間のもろもろの苦悩を滅ぼす方法を説き、今なお沢山の人々の心を潤し続ける、世界で一番勝れた教え、仏教の生みの親、お釈迦さまのお生まれになった日が四月八日です。(ビルマやタイ、スリランカなどの仏教では、五月の満月の日だそうです。) 六〇数年前、当時の『お寺のおばあさ

ん』玉尾さんが田んぼの土をこねて、近所の子どもたちが摘んできた野山の花で花御堂を飾り、手作りのお団子などをお供えしてこの日を祝いました。集落の子どもたちは、夫々の家の心尽くしののり巻きやお稲荷さんを重箱に詰めて集まり、方丈さまのお話を聞いたり隠れんぼをしたり、日暮れまで遊びました。食べ物事情が厳しかったあの頃、甘茶のなんと甘かったこと。『野駝け』と言いましたね。その私がまさか、そのお寺に弟子入りするなんて、ご縁って不思議なものだと、毎年ながらつくづく思います。そして今年。一九歳で嫁いだ『お寺の宏子さん』がおばあさんになって、同じことを我が孫としています。こうした、肩ひじ張らぬ何気ない線り返しによって、宗教や文化とか伝統などというものが、ずっと伝えられて行くのでしょうか。

思えばお釈迦さまの教えは、酷寒のヒマラヤを越え、灼熱の沙漠とオアシスの国の人々の熱い思いに支えられ、異国の文化とともに中国に至り、やがて東の外れの国にたどり着きました。仏教がこの国に伝わって以来千五百年近く、外来の仏教と古来からの日本の神様は渾然と溶け合っ、分け隔てなく信仰されてきました。

明治初年、時の政府が王政復古の掛排仏毀釈運動が吹き荒れました。当時、奈良の名刹で、仏像を薪にして風呂を沸かし「これが本当の仏風呂」など言いながら入浴したという罰当たりな坊さんがいたり、還俗する人も多かったそうですし、そのために廃寺になるお寺も数多かったです。当時の提督の『黒船来航』よりも大きな衝撃

ふれあいコンサート2008

すっかりお馴染みになったフルート奏者の深津純子さんの6枚目のCD発表記念コンサートのお知らせです。今回は5人編成という豪華メンバーくれぐれもお聞き逃しのないようお問い合わせは0470-38-4740

- ◆ 5月24日(土) 午後6時30分開演
- ◆ 会場 紫雲寺本堂
- ◆ 出演: 深津純子(フルート)、奥山勝(ピアノ)、越田太郎丸(ギター)、小泉哲夫(ベース)、美座良彦(パーカッション)

だったことでしょう。然し、踏みとどまつて修行を続けた信仰心の強い方も勿論多く、お蔭で日本仏教が衰えることもなく、今日に至ることができました。そして言うまでもないことですが、地域の人たちのお寺を思う気持ちが、しっかりとあつたからです。

例えば紫雲寺で戦後『農地解放』した面積は、一町五反歩近くありました。これら農地や山林の由来は、若くして逝つた可愛い娘の永代供養のためなど、皆お檀家からの奉納に他なりません。而も、農地の入札をした際「お寺で必要があつた時はいつでもお返しします。」という約束があつて、皆さんこれを快く守つて下さり、本堂や庫裏の工費の一部になつたりしたことはご存知の通りですね。

他に、農地のままで返して戴いた分もあります。これは紫雲寺に限らず、兼務の長福寺、石戸寺、観乗院についても全く同じことで、心の拠り所としてのお寺への想いがある限り、夫々のお寺はずっと心の拠点として続いて行くことでしょう。

余滴

◆密蔵塔志納金の付け足しです。世間の物の売り買いと違い、あくまでも自分の功德のためのお布施ですから、金額はこれこれと決めないのが正しいのです。世の中には、今日の糧がやっとなという人、100万円ぐらいなら簡単、という人と様々です。でも、全く目安がないというもお互い困るもの。ということで30万円なのです。色々の事情で先行き不安、ということがありましたらご相談下さい。考えたくないけれど、必ず必要になるのがお墓です。

“自分の眼の黒いうちに”、解決しておくことをお考え下さい。

◆つい先日のこと。「親の遺産を相続しましたが、私たちは夫々嫁いで家庭

もあります。姉妹みんなで相談した結果、お寺さんに奉納したいと思いたす方が受け取ってもらえませんか。」というお話がありました。

「有り難いことですが、お寺は法律で農地を持ってないんですよ。」とご辞退したのですが「それでは、御前さまの名義では如何でしょうか。」とのことでした。

兎角、欲得づくでの判断がはやる近頃、何とも爽やかなお話に頭が下がりました。

◆花御堂に使うお花は、もう20年も前から名倉の親戚で買ってきます。御堂を葺くには、ご覧のように花の部分しか使いませんから、想像以上に沢山の花が必要です。

本来なら農作業の都合で、早く片付けたいところですが、この日まで花畑をそのままにしておくのは、身内とは言いながら面倒なことだろうと、申し訳なく有り難く思っているのです。◆うろ覚えですが『滅びゆく千葉県野草』という写真集があります。シランやタヌキモなどとともに、このキケマン【けし科キケマン属】もその一つだそうです。

たしかに白浜でも、数株のこの群落しか見当たりません。丈は50~60センチ。仲間のムラサキケマンと違い剛直な感じで、どうも可愛いらしくはありません。漢字で華鬘と書き、仏堂を飾る仏具に見立てたそうです。

2008/04/09 龍渉



「醜い日本人」にならないために
他人のために生きる「美学」学びたい

個性のない若者たち
曾野綾子

近頃の日本人はどうも醜くなったような気がする、と私の周囲の人が言う。私も時々同じように思う。しかしそう思う時には、必ず一言心の中で言い訳する声が聞こえる。

「人間というものは、自分を棚にあげないと何も言えない」

どういふ点が醜いのか書き出したらきりがなけれど、醜いというからには外見からわかることがほとんどだ。

東京の渋谷、新宿、池袋などのにぎやかな町では、若い人たちに洗われながら歩くことが多い。そこに溢れているのは、疹せて筋力がない貧弱な細身に、まるで制服のように同じ流行の衣服を着ている若者である。ほとんど同じ髪形をし、最近では流行の重ね着のほかに、バスタのすぐ下にギャザーを寄せたセーターと「ももひき」をはいて内股でべたりべたりと歩く。

朝早いテレビのニュース番組には、こういう個性のない肉体と、まるで同じような髪形と服装のお嬢さんが時には4人も出てくる。4人とも必要だということ、魅力の点でもアナウンサーとしての技量の上でも、多分1人ではもたないということ、局側が知っているからだろう。

BBCだつてCNNだつて1項目のニュースを読むのは原則1人のアナウンサーで、一行読んで別の人の声に渡しだりしない。そしてその女性たちが、実にそれぞれ強烈な個性美を持っている。あらゆる男性視聴者の女性に対する好みをすべて揃えました、といっているように見える。年増派あり、神秘派あり、モノセックス風あり、近寄ると危険派あり、肌の黒いカモシカのような肢体派あり、昔の小学校の受け持ちの女先生に対する憧れ派あり、あらゆるタイプ別に女性を揃えております、とい

う姿勢が言下に見えている。

「魂の高貴さ」を学ぶ

そこで大切なのはその人の個性であつて、黒髪の日本人のくせに金髪に染めているといふだけで、これは自分のない人だといふ判断をされても仕方がないだろう。今は少し離れたが、破れたジーンズファッションが私は嫌いだつた。アフリカの貧しい青年たちは、新しいジーンズなどなかなか買えない。もし破れている流行の品と、破れていない新品とどちらでもあげると言われたら、アフリカの貧しい青年で破れたジーンズをもらいたがる人はいないだろう。他人の貧しさをファッションにして楽しむ神経に、私はどうしてもついていけないのである。

こうした無神経は日本人の素質が悪いからではなく、すべて学習の不足から来るのである。日本以外の国では、その人に対する尊敬はすべて強烈な個性の有る無しが基礎になっている。もちろんお金や権力のあるなしもその一つの尺度とはなり得るだろうが、日本では、最近全く若者に教えていない分野があることが分かった。

つまり魂の高貴さということに関して教師も親も知らない上、当人も読書をしないから、損得勘定、自己愛などいふもの以外に人間を動かす情熱の存在や、それに対する畏敬の念というものがこの世にあるのだと考へたこともないのである。

「偉くなる」って何?

つい先日、JR北陸線の車内で女性が暴行を受ける事件があつたが、異常に気付きながらひとりとして暴力的な犯人に立ち向かう男性がいなかったというニュースは、まさにこうした日教組的教育の惨憺たる結果を表している。

もつとも私は昔から西部劇の中の男だけがならず者に立ち向かうという設定には抵抗を覚えていた。女も抵抗の戦い出来る

範囲で働けばいいのである。それが男女同権というものだ。北陸線の中でも、男女にかかわらず知恵を働かせて車掌か鉄道警察隊に知らせようとした人についてよかったのだ。

最近の調査によると、人生の目標に「偉くなること」をあげる若者たちの率が、日本ではアメリカや韓国に比べて著しく低い、という。私にもその癖はあつて、権力を志向する政治家の情熱を理解していない。しかし「偉くなること」を総理や大会社の社長になること以外に、他人のために自らの決定において死ぬことのできる人、つまり自らの美学や哲学を持つ人、と定義するならば、私はそうした勇気をずっと憧れ続けている。

本当の道徳的支援というものは、生命も財産もさし出せることです、と言うと、そんな損なことをする人がこの世にいるだろうかという顔をされることも多い。それほど恥づかしげもなく功利的な日本人を他国人は何とと思うか、矢張り教えた方がいい。

(昨年五月五日、産経新聞「正論」欄に掲載の記事です。)

駆け込み寺

紫雲寺のホームページに「ここは三百六十五日オープン」の緊急避難センター。切羽詰った時は、遠慮なくいつでもどうぞ」という恰好の良いことが書いてあります。

先日、曹洞宗総合研究センターの研修生の方々がこれを見つけたらしく、どんなことをしているのかと調べたところ、折り返し見られるような若いお坊さんでした。

聞き取り調査が終わつてお茶を飲みながら、今ほど世の中に悩み事が多い時はないのに、多くのお寺さんが本気で取り組んでいない、という話になりました。

お寺の方も、どうすれば生きていく人が安心して暮らせるか、本気で考える必要がありすが、周りの人も法事やお葬式のことばかりでなく、普段の暮らしについても、もっとも活用しなければ勿体ないと思ひます。

「お寺は敷居が高いから。」なんて、そんなことは思い過ぎなんですから。

みつごと
密厳塔のお開眼



昨年暮れに出来上がったいた永代供養墓「密厳塔」ですが、先頃漸くお開眼を済ませて、位牌堂に仮にお預かりしていた霊位の納骨を済ませました。

これからは「密厳塔」の本尊さま、観音菩薩に守られ、朝夕の梵鐘やお勤めのお経を聞きながら、ゆつたりと彼岸の世界を楽しんでもらえます。

尚、志納金は目安として三十万円以上でお願いしたいと思ひつています。

チベットの悲劇に関心を

毒ギョーザ事件、生野菜の残留農薬問題、光化学スモッグ、黄砂、酸性雨と、いつも有り難くないものばかり輸出する、困つたちゃんのお隣さん中国。

今度は、チベットの弾圧に乗り出しました。世界の多くの人たちが、インドにあるダライ・ラマ十四世の亡命政府との話し合いを勧めていますが、胡錦濤さんは、国内問題だから要らぬお世話と、にべもありません。チベットはもともと独立した国家でしたが、大東亜戦後に中国共産党が力づくで制圧した地域です。

チベット仏教は私たち真言宗に一番近い密教の流れで、日本人には想像も出来ないほど熱心な仏教国です。このままでは、あの国の仏教も文化も滅んでしまいます。

軍隊に殺された人たちの冥福と、チベットに一日も早く平和が訪れるよう、祈らずにはおれません。